



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 日本アセットマーケティング株式会社

上場取引所 東

コード番号 8922

URL <http://www.jasset.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行責任者

(氏名) 越塚 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者

(氏名) 栗原 裕二

TEL 03-5667-8023

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	915	843.3	75	—	△51	—	△34	—
25年3月期第3四半期	97	144.1	△284	—	△314	—	△89	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △35百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△0.13	—
25年3月期第3四半期	△0.94	—

(注) 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	56,352	1,858	3.3	6.72
25年3月期	313	204	65.1	1.39

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,858百万円 25年3月期 204百万円

(注) 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	—	640	—	480	—	440	—	1.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注1) 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

(注2) 詳細は添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	276,432,400 株	25年3月期	146,432,400 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	200 株	25年3月期	200 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	266,504,927 株	25年3月期3Q	95,510,274 株
----------	---------------	----------	--------------

(注)当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策により、企業の業況判断や雇用情勢は改善しております。また、設備投資や個人消費に関しましても改善する傾向が続くと見込まれております。当社グループを取り巻く不動産業界におきましても、不動産の流動性に関し活性化の兆しが高まっております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは、不動産賃貸事業及び不動産管理事業に経営資源を集中し、不動産の効率的活用・管理をすることにより、安定した収益の獲得を図り、当社の収益基盤の強化を目指しました。また、その他事業においては、ユーザビリティの飛躍的な向上を実現し、SEO効果も徐々に成果が出てきておりますが、リスティング等のサイトやサービスそのものの認知度向上にはまだ至っておりません。

その結果、当第3四半期連結累計期間における損益の概況は、売上高9億15百万円（前年同期比843.3%増）、営業利益75百万円（前年同期は営業損失2億84百万円）、経常損失51百万円（前年同期は経常損失3億14百万円）、四半期純損失34百万円（前年同期は四半期純損失89百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は563億52百万円（前連結会計年度末比560億39百万円の増加）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加36億88百万円、建物及び構築物（純額）の増加315億26百万円、土地の増加177億75百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は544億94百万円（前連結会計年度末比543億85百万円の増加）となりました。主な要因は、借入金の増加195億円、債権流動化に伴う支払債務の増加306億56百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は18億58百万円（前連結会計年度末比16億54百万円の増加）となりました。主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少34百万円、第三者割当増資による資本金及び資本準備金の増加16億90百万円であります。

以上により自己資本比率は前連結会計年度末の65.1%から3.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月13日付の「通期連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53	3,741
売掛金	7	123
前払費用	12	574
未収消費税等	15	1,537
その他	2	390
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	92	6,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3	31,529
工具、器具及び備品（純額）	3	2
土地	—	17,775
有形固定資産合計	7	49,307
無形固定資産		
ソフトウェア	93	82
ソフトウェア仮勘定	59	82
商標権	18	15
その他	0	0
無形固定資産合計	171	180
投資その他の資産		
差入保証金	25	326
その他	20	172
貸倒引当金	△4	△1
投資その他の資産合計	41	497
固定資産合計	220	49,986
資産合計	313	56,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	1,500
債権流動化に伴う支払債務	—	4,284
未払金	36	287
未払法人税等	9	9
その他	12	758
流動負債合計	58	6,839
固定負債		
長期借入金	—	18,000
債権流動化に伴う長期支払債務	—	26,372
預り保証金	7	2,997
繰延税金負債	16	13
PCB廃棄物処理費用引当金	26	26
資産除去債務	—	244
固定負債合計	50	47,654
負債合計	109	54,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,252	4,097
資本剰余金	1,445	2,290
利益剰余金	△4,495	△4,529
自己株式	△0	△0
株主資本合計	202	1,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	—
その他の包括利益累計額合計	1	—
新株予約権	0	0
純資産合計	204	1,858
負債純資産合計	313	56,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	97	915
売上原価	151	507
売上総利益又は売上総損失 (△)	△53	407
販売費及び一般管理費	230	332
営業利益又は営業損失 (△)	△284	75
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	—	12
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	1	1
営業外収益合計	1	14
営業外費用		
支払利息	6	32
株式交付費	18	8
支払手数料	7	70
債権流動化費用	—	29
その他	0	0
営業外費用合計	31	141
経常損失 (△)	△314	△51
特別利益		
投資有価証券売却益	0	19
子会社株式売却益	224	—
特別利益合計	224	19
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失 (△)	△90	△32
法人税、住民税及び事業税	3	4
法人税等調整額	△3	△3
法人税等合計	△0	1
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△89	△34
四半期純損失 (△)	△89	△34

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89	△34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△1
その他の包括利益合計	0	△1
四半期包括利益	△89	△35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89	△35
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年4月22日付で、株式会社エルエヌから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が8億45百万円、資本準備金が8億45百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が40億97百万円、資本準備金が22億90百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	不動産賃貸事業	不動産管理事業	その他事業	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	64	4	28	—	97
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	64	4	28	—	97
セグメント損失(△)	△15	△13	△179	△74	△284

(注) 1. セグメント損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用74百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	不動産賃貸事業	不動産管理事業	その他事業	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	713	109	92	—	915
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	713	109	92	—	915
セグメント利益又は損失(△)	338	△3	△160	△99	75

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用99百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントと記載しておりました「不動産オペレーション事業」、「広告事業」及び「ビジネスサービス事業」の3区分から、「不動産賃貸事業」、「不動産管理事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。

これは、当社グループが、不動産賃貸事業及び不動産管理事業に経営資源を集中し、不動産の効率的活用・管理をすることに伴う報告セグメントの変更であります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。